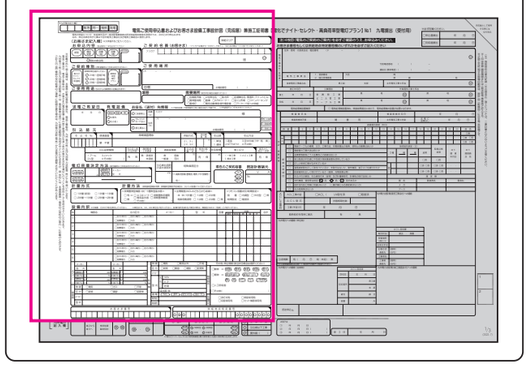
電気ご使用申込書およびお客さま設備工事設計図（完成届）兼施工証明書【電化でナイト･セレクト・高負荷率型電灯プラン】の記入方法

〔ご記入にあたって〕
記入例を参考に、太枠箇所へのご記入をお願いいたします。

（申込書左面の記入方法）



ご契約名義
間違いのないよう十分ご確認のうえ、ご記入ください。
◆電気契約者印は本人からの申込みであることを確認するため押印ください。

ご使用場所
番地まで必ずご記入ください。また、電話番号は必ずご記入ください。

お支払（送付）先情報
電気料金の支払方法を選択してください。
「口座振替払い」を希望される場合は、受付時に他の電気料金が既に振替払いされている口座があるかなどを確認させていただきますので、事前にお客さまへ確認をお願いします。
なお、新設時にいずれも選択がなければ振込票を発送することになります。
◆郵便物の送付先が使用場所と異なる場合には必ず送付先住所をご記入ください。

契約の統合
２つの契約を１つの契約へ変更する場合は○で囲んでください。

ご使用用途
お客さまへお届けする請求書などに記載される項目のため、お客さまの希望する内容をご記入ください。

業態
電気使用の業態を下表よりご記入ください。

業態	新聞出版	農業	コンビニエンスストア	通信
	運輸	学校・研究所	医療保険	官公署
	事務所・ビル	劇場娯楽場	百貨店・商店	旅館・飲料店
	住宅用	その他		

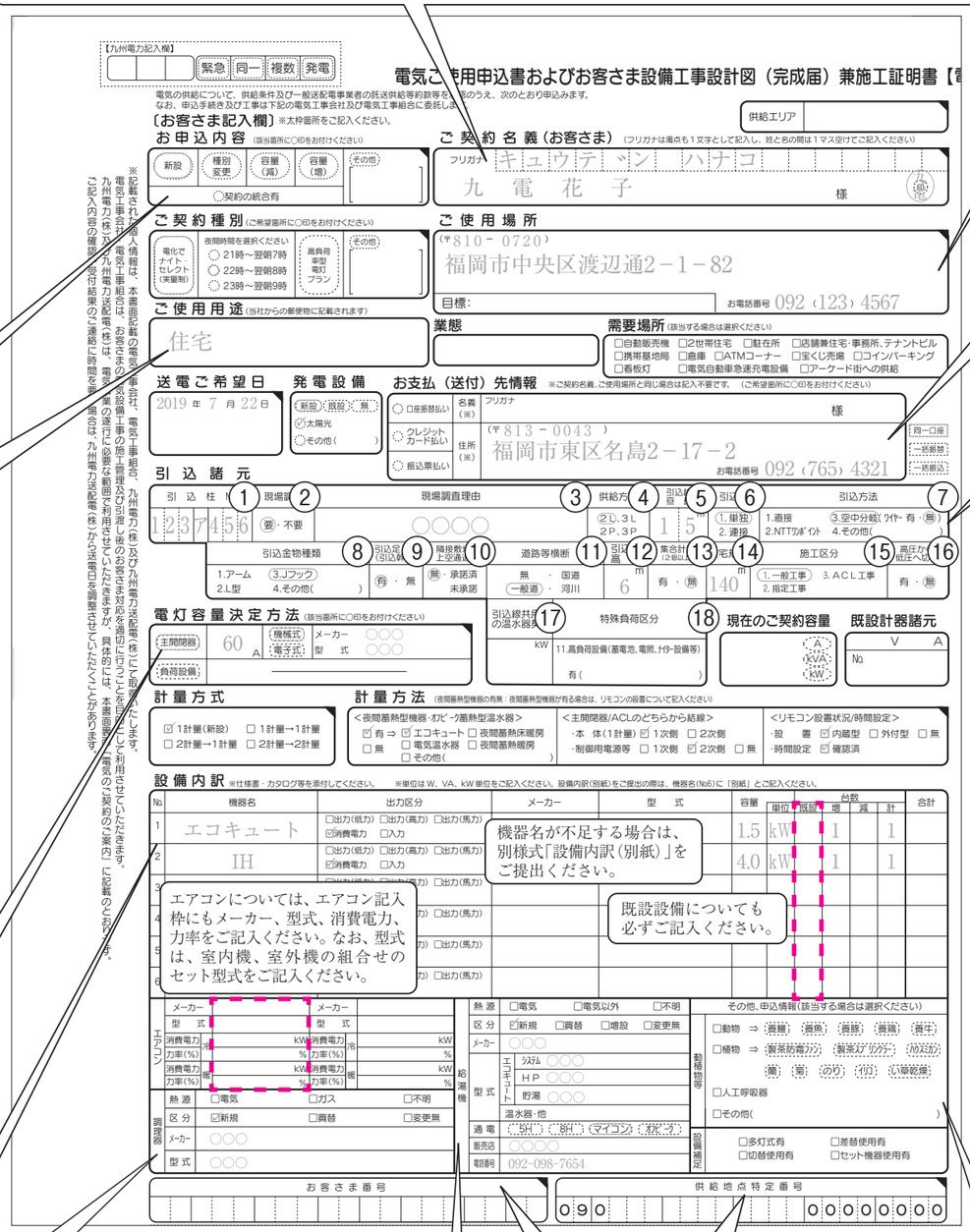
需要場所
該当しない場合は選択不要です。お申込みの内容により、営業所から連絡させていただく場合があります。

送電ご希望日
送電希望日をご記入ください。
◆電柱・電線の改修工事を必要とする場合など工事の内容によっては、ご希望の日にちよりも工事期間等を要する場合がありますので、お早めにお申込みいただくようご理解ご協力をお願いします。

発電設備
発電設備の申込書との突合せに必要なため、「新規／既設／無」を○で囲み、発電の種類をチェックまたはご記入ください。

電灯容量決定方法
主開閉器の場合は種類、容量、メーカー・型式をご記入ください。
◆主開閉器契約の場合、機械式、電子式のいずれの場合もメーカー及び型式をご記入ください。
なお、主開閉器（電子式）が以下に該当する場合は「九州電力送配電(委託工事会社)への連絡」欄に該当する内容をご記入ください。
①中古品
②ブレーカーボックス（フタ）を開けたもの
③その他市販品に加工を施しているもの

設備内訳
機器名、出力区分、メーカー、型式、容量、台数は、電気料金(基本料金)のもととなる契約容量を確定するため、重要な項目であり、以下の点に注意してご記入ください。
◆使用される機器については必ず仕様書・カタログ等を添付ください。
なお、仕様書等がない場合は、機器自体に記載している定格銘板等の写真を添付ください。
また、機器出力容量の記入を誤ると、電気料金の誤りにつながりますのでご注意ください。



調理器
熱源
ご使用される設備の熱源をご選択してください。
区分（新規･買替）
オール電化住宅を把握するために、使用されるIH機器の情報が必要なことから、IH機器の区分・メーカー名・型式をご記入ください。

お客さま番号・供給地点特定番号
既存契約の変更のお申込みの場合、お客さま番号または供給地点特定番号のどちらかを必ずご記入ください。

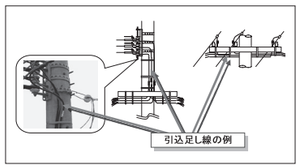
給湯機
ご使用される夜間蓄熱型機器・オフピーク蓄熱型電気温水器の、熱源、区分、メーカー名、型式、通電タイプ、販売店名をご記入ください。
◆夜間蓄熱型機器･オフピーク蓄熱型電気温水器の設置がない場合は、熱源以外はご記入不要です。
◆蓄熱式床暖房など、温水器・エコキュート以外の「夜間蓄熱型機器」設置の場合も同様にご記入ください。

その他、申込情報
動植物等
該当しない場合は選択不要です。
◆動植物等に関連する設備を設置される場合は、お客さま側での停電時の設備対策（非常用発電機、停電警報装置等）を講じていただくようお願いしております。
◆その他関連する設備がある場合は、「その他」（ ）に設備の用途をご記入ください。

引込諸元
①引込柱番号をご記入ください。
◆引込柱№で送電に必要な供給設備の空き容量や、現場の位置などを確認しますので、正しくご記入ください。
②九州電力送配電の現場調査が必要な場合は「要」にチェックしてください。
③現場調査が必要な場合、必要な理由を「現場調査理由」欄にご記入ください。
④以下で供給方式を確認して○で囲んでください。

単相２線式100V	2L	単相２線式200V	2P
単相３線式100V	3L	3相３線式200V	3P

⑤引込柱から引込口までの距離をご記入ください。
◆100mを越える場合は「99」と記入し、「九州電力送配電（委託工事会社）への連絡」欄におよその距離をご記入ください。
⑥現行または新規引込を引込柱より直接引込む場合は「1.単独」、その他は「2.連接」を○で囲んでください。
◆引込柱からNTT柱を経由して直接引込む場合は「1.単独」を○で囲んでください。
⑦引込方法を○で囲んでください。空中分岐の場合は、ワイヤーの有無を○で囲んでください。
◆「4.その他」の場合は、（ ）へご記入ください。
⑧引込金物種類を○で囲んでください。
◆「4.その他」の場合は、（ ）へご記入ください。
⑨引込柱に引込足し線（引込幹線）があるか、有無を○で囲んでください。（不明の場合は、記入不要です。）
◆引込足し線とは引込線を接続するため、低圧線から分岐した電線のことです。



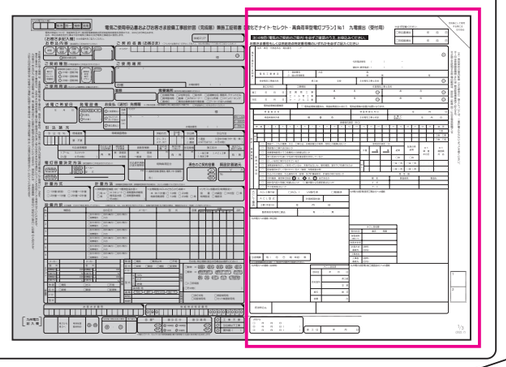
⑩隣接敷地の上空通過の有無、通過がある場合は、上空を通過するお客さまの承諾をいただいているかを○で囲んでください。
⑪引込線の道路（国道、一般道）横断、河川横断の有無を○で囲んでください。
◆国道、河川を横断する場合は、官庁への占用申請に時間を要し、送電までに時間を要する場合がありますので、事前に九州電力送配電(株)までご相談ください。
⑫引込口取付点の高さをご記入ください。
【参考】道路等横断する際は、地上高5m以上の確保が必要
⑬アパート、マンション等で、複数のお客さまの計量器を同一箇所へ設置される場合の有無を○で囲んでください。
⑭住宅規模を㎡単位でご記入ください。1,000㎡以上の場合は、「999」とご記入ください。
⑮該当する施工区分を○で囲んでください。
１．一般工事：指定工事、ACL工事以外の工事
２．指定工事：「配線指定工事契約」に基づき屋内電気工事に伴う低圧引込線、計器、NTS工事を行うもの
３．ACL工事：「電流制限器工事に関する協定書」に基づき屋内電気工事に伴うACL新設、容量変更工事を行うもの
⑯高圧契約から低圧契約への変更有無を○で囲んでください。
⑰電灯の容量変更で電灯用と温水器用の引込線を共用している場合に限って温水器の契約容量をkW単位でご記入ください。
⑱高負荷設備（負荷設備の全負荷が継続して稼働する設備や定格電流以上の最大電流が一定時間流れる設備）が有る場合は、設置する設備を（ ）へご記入ください。

◆工事が遅延する可能性があるので正しくご記入ください。
◆引込工事が遅延する可能性があるので正しくご記入ください。
◆引込方法など引込ルートに関する項目の記入誤りや未記入箇所があると、引込工事が遅延する可能性があるので正しくご記入ください。

電気ご使用申込書およびお客さま設備工事設計図（完成届）兼施工証明書【電化でナイト･セレクト・高負荷率型電灯プラン】の記入方法

〔ご記入にあたって〕
記入例を参考に、太枠箇所へのご記入をお願いいたします。

（申込書右面の記入方法）



電気工事会社記入欄
①工事を施工した工事会社の情報を記入し、押印してください。
◆固定電話だけではつながらないことがあるので、携帯電話番号を記入し、九州電力送配電（委託工事会社）への連絡欄に担当者名をご記入ください。
②経済産業大臣または県知事に登録した番号をご記入ください。
（例）福岡県130011号
③代行申請を依頼した電気工事組合名をご記入ください。
④電気工事業法第19条に定める主任電気工事士の氏名を記入し押印してください。
⑤工事の着工予定および完成年月日をご記入ください。
⑥該当する工事種別を○で囲んでください。
⑦工事を施工した電気工事士の免状番号、氏名を記入し押印してください。

ACL工事店記入欄
ACL工事店は、当てはまる事項をチェックし、空欄に必要事項をご記入ください。

臨時契約を同時に撤去欄
常時分引込線工事と同時に撤去する臨時契約の有無を○で囲んでください。

電気料金の引渡精算 記入欄
引渡精算の有無を○で囲んでください。

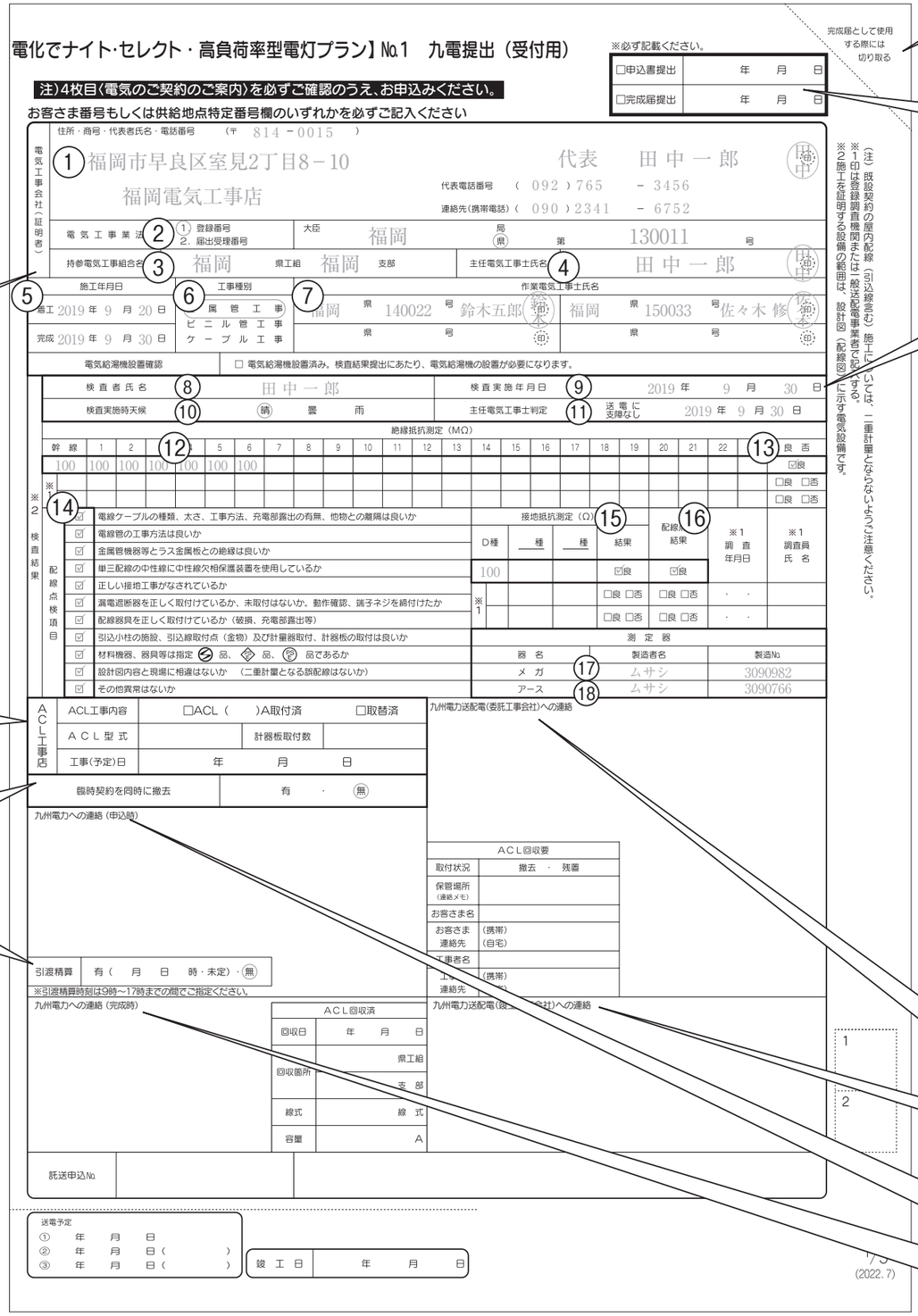
- 「未定」を選択頂いた場合、引渡精算の受付は完了しておりません。引渡清算日が確定次第、当社コールセンターまでご連絡をお願いいたします。
- 17時以降、電気をご利用される場合、引渡日は翌日の時間指定なし(0時)をご記入してください。
- 新しいご契約者さまのご契約開始のお申込を頂いていない場合、指定された時間以降に、九州電力送配電にて通電を遮断させて頂くことがあります。

（例）11月10日（時間指定なし）の場合

11/1 契約開始日 ／ 11/10 引渡日

旧契約者
11月1日～11月９日24時までの電気料金を請求します

新契約者
11月10日0時以降の電気料金を請求します



電化でナイト･セレクト・高負荷率型電灯プラン】№1　九電提出（受付用）

注）4枚目〈電気のご契約のご案内〉を必ずご確認のうえ、お申込みください。

お客さま番号もしくは供給地点特定番号欄のいずれかを必ずご記入ください

※必ず記載ください。

□申込書提出	年　月　日
□完成届提出	年　月　日

完成届として使用する際には切り取る

電気工事会社（証明者）
①福岡市早良区室見2丁目8－10　福岡電気工事店　代表　田中一郎
代表電話番号　（092）765 － 3456
連絡先（携帯電話）（090）2341 － 6752
電気工事業法 ②①登録番号 2.届出受理番号　大臣 福岡 局(県) 第 130011 号
持参電気工事組合名 ③福岡　県工組 福岡 支部　主任電気工事士氏名 ④田中一郎
⑤施工年月日　着工 2019年9月20日　完成 2019年9月30日
⑥工事種別　属管工事 / ビニル管工事 / ケーブル工事
⑦作業電気工事士氏名　福岡 県 140022 号 鈴木五郎　福岡 県 150033 号 佐々木修
電気給湯機設置確認　□ 電気給湯機設置済み。検査結果提出にあたり、電気給湯機の設置が必要になります。
検査者氏名 ⑧田中一郎　検査実施年月日 ⑨2019年9月30日
検査実施時天候 ⑩晴 曇 雨　主任電気工事士判定 ⑪送電に支障なし　2019年9月30日

絶縁抵抗測定（MΩ）

幹線	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	⑬良否
⑫	100	100	100	100	100	100	100																☑良
※1																							□良 □否
※1																							□良 □否

※2 検査結果 配線点検項目

		接地抵抗測定（Ω） D種	種	種	⑮結果	⑯配線結果	※1 調直年月日	※1 調査員氏名
☑	電線ケーブルの種類、太さ、工事方法、充電部露出の有無、他物との離隔は良いか	100			☑良	☑良		
☑	電線管の工事方法は良いか	※1			□良 □否	□良 □否	・ ・	
☑	金属管機器等とラス金属板との絶縁は良いか	※1			□良 □否	□良 □否	・ ・	
☑	単三配線の中性線に中性線欠相保護装置を使用しているか							
☑	正しい接地工事がなされているか							
☑	漏電遮断器を正しく取付けているか、未取付はないか。動作確認、端子ネジを締付けたか							
☑	配線器具を正しく取付けているか（破損、充電部露出等）							
☑	引込小柱の施設、引込線取付点（金物）及び計量器取付、計器板の取付は良いか							
☑	材料機器、器具等は指定 ㊦ 品、㊧ 品、㊨ 品であるか	測定器						
☑	設計図内容と現場に相違はないか　（二重計量となる誤配線はないか）	器名			製造者名		製造No.	
☑	その他異常はないか	メガ ⑰			ムサシ		3090982	
		アース ⑱			ムサシ		3090766	

ACL工事店
ACL工事内容　□ACL（　）A取付済　□取替済
ACL型式　　計器板取付数
工事(予定)日　年　月　日
臨時契約を同時に撤去　有 ・ (無)

九州電力送配電(委託工事会社)への連絡

九州電力への連絡（申込時）

ACL回収要

取付状況	撤去 ・ 残置
保管場所（連絡メモ）	
お客さま名	
お客さま連絡先	（携帯）（自宅）
工事者名	
工事者連絡先	（携帯）

引渡精算　有（　月　日　時・未定）・(無)
※引渡精算時刻は9時～17時までの間でご指定ください。

九州電力への連絡（完成時）

ACL回収済

回収日	年　月　日
回収箇所	県工組 / 支部
線式	線式
容量	A

九州電力送配電(委託工事会社)への連絡

1
2

託送申込No.

送電予定
①　年　月　日
②　年　月　日（　）
③　年　月　日（　）

竣工日　年　月　日

1/3
(2022.7)

（注）既設契約の屋内配線（引込線含む）施工については、一重計量とならないように注意ください。
※1 印は登録調査機関または一般送配電事業者にて記入する。
※2 施工を証明する設備の範囲は、設計図（配線図）に示す電気設備です。

工事が完了し完成届として九電に提出する際にお切り取りください。

（申込）九電に申し込みした年月日をご記入ください。
（完成）九電に完成届けとして提出した年月日をご記入ください。

◆竣工調査等で必要な項目のためご記入ください。

検査結果
⑧工事完了後、絶縁抵抗測定とその良否判定、接地抵抗測定とその良否判定および配線点検を実施した電気工事士の氏名をご記入ください。
⑨検査を実施した年月日をご記入ください。
⑩検査を実施した年月日の天候で該当するものを○で囲んでください。
⑪主任電気工事士が絶縁抵抗測定とその良否判定、接地抵抗測定とその良否判定および配線点検を実施し、送電に支障ないと認めた日をご記入ください。
⑫絶縁抵抗の実測値をご記入ください。
幹線は分岐回路を全部投入して測定してください。
⑬絶縁抵抗測定の結果、良の場合は□にチェックしてください。
不良の場合は、手直しを実施した後に再測定を行い、良になった後□にチェックしてください。
⑭項目について点検し、不良箇所があった場合は手直しを行った後□にチェックしてください。
⑮機械、器具の鉄台、金属製外箱および鉄わくなどの接地抵抗値をご記入ください。
（補足）接地抵抗値は、内線規程1編3章1350節接地をご参照ください。
接地抵抗測定の結果、良の場合は□にチェックしてください。
不良の場合は、手直しを実施した後に再測定を行い、良になった後□にチェックしてください。
⑯配線点検の結果、良の場合は□にチェックしてください。不良の場合は、手直しを実施した後に再点検を行い、良になった後□にチェックしてください。
⑰検査に使用した絶縁抵抗計の製造者名、番号をご記入ください。
⑱検査に使用した接地抵抗計の製造者名、番号をご記入ください。

九州電力送配電への連絡
工事に関する連絡をご記入ください。
（例）・工事施工希望時間帯
・訪問前の連絡希望
・立会い希望理由
・担当者の連絡先　など

九州電力への連絡
お客さまの契約情報に関する連絡
（例）・お支払に関する情報
・ご名義に関する情報
など

◆九州電力への連絡へ工事に関する連絡をご記入いただいた場合、九州電力送配電（株）へ伝達できない場合がありますので正しくご記入下さい。